

AT WAR WITH SELF

country: U.S.A.

style/genre: Hard Prog, Prog Metal, Technical Instrumental, etc.

website: <http://www.glennsnelwar.com/>

related bands/artists: [Gordian Knot](#), [Michael Manring](#), [Mark Zonder \(Fates Warning\)](#), etc.

similar bands/artists: [Gordian Knot](#), [Fates Warning](#), [King Crimson](#), [Cynic](#), [Aghora](#), [Zero Hour](#), [Dream Theater](#), etc.

artist info: Gordian Knotでも活躍をしていたGlen Snelwar率いるProgressive Rockトリオ。



◆At War With Self - Torn Between Dimensions

Free Electric Sound/The Laser's Edge

(2005)

The Laser's Edge傘下のFree Electric Soundからリリースされたトリオ編成のProgressive Rockバンドの1stアルバム「Torn Between Dimensions」。スタイル的には、ヘヴィなProg RockからダークなProg Metalなどの領域を行き来するタイプという印象です。濃密なアンサンブルと知的なエッセンスがまぶされており、演奏能力と楽曲構成の見事さに惚れ込んでおります。これは凄くいいですわ！。気になるメンバーですが、[Gordian Knot](#)の1stにも参加していた[Glenn Snelwar](#) (guitars/keyboards/mandolin/e-bow)が主に音楽的な舵取り役であり、中心人物となっております。ベーシストには、同じくFree Electric Sound名義でリリースしているMcGill/Manring/Stevens繋がりで[Michael Manring](#)。驚いたのは、ドラマーとして迎えられたのは、[Fates Warning](#)での活動で知られているMark Zonderであります。ベテランの3人が集まっているだけに、演奏力は非常に高いです。似たタイプとしてはGordian Knotが一番近いと思います。混沌とした雰囲気の中、ウネリのあるヘヴィーでテクニカルなサウンドが前面に踊り出てくる一方で、前衛的な音楽に通じるかのような静謐な空間美を作ることにも長けています。前述したGordian Knotだけでなく[King Crimson](#), [Cynic](#), [Aghora](#), [Zero Hour](#)、そして[Fates Warning](#)や[Dream Theater](#)辺りのサウンドが好きな人には、楽しめる内容が詰まっていると思います。

◆PILGRIM WORLD推薦盤

[Back to \[A\] Section](#)

[Back to Review Index](#)

[Go to Top Page](#)